

令和6年度第10回
モニターアンケート結果報告書

食品ロスについて

板橋区政策経営部広聴広報課

— 目 次 —

ページ

アンケート概要		1
あなたご自身のことについて		
問1	あなたの性別は	2
問2	あなたの年齢は	2
「食品ロス」について		
問3	「食品ロス」を知っていますか。	2
問4	(問3で「言葉と意味を知っている」「言葉は知っているが意味は知らない」と回答された方にお伺いします。) 普段ご自身で行っている「食品ロス」削減につながる取組で、あてはまるものをお選びください。(複数回答可)	3
問5	食べ残しや期限切れなどにより、食品・食材を捨ててしまう頻度はどのくらいですか。	4
「フードドライブ」について		
問6	「フードドライブ」を知っていますか。	4
問7	(問6で「言葉と意味を知っている」と回答した方にお伺いします。) フードドライブで食品を提供したことはありますか。	5
問8	(問6で「言葉と意味を知っている」と回答した方にお伺いします。) 区では、18か所の地域センターや子ども家庭総合支援センター、無印良品板橋南町22、マルエツ板橋南町店、ファミリーマート板橋三園店、ファミリーマート板橋成増一丁目店で、フードドライブの受け付けをしています。この活動を知っていますか。	5
「フードシェアリングサービス」について		
問9	フードシェアリングサービス「いたばし×タベスケ」を知っていますか。	6
問10	(問9で「言葉と意味を知っている」と回答した方にお伺いします。) 「いたばし×タベスケ」を利用して商品を購入したことはありますか。	6
問11	(問9で「言葉は知っているが意味は知らない」「知らない(初めて聞いた)」、または問10で「ない」と回答した方にお伺いします。) 「いたばし×タベスケ」を利用したいと思いますか。	7
問12	(問11で「思わない」と回答した方にお伺いします。) その理由はなぜですか。(複数回答可)	7～8

生ごみの減量・リサイクルについて		
問13	生ごみの減量やリサイクルのため、普段ご自身で行っている取組で、当てはまるものをお選びください。（複数回答可）	9
食品ロスや生ごみの減量・リサイクルに関するイベントなどについて		
問14	食品ロスや生ごみの減量・リサイクルに関して、今後どのようなイベントやサポートがあると良いと思いますか。当てはまるものをお選びください。（複数回答可）	10~11

※ n(number of cases)は、その設問に対する回答者の総数を示しています。

質問によっては複数の回答を得たものがあります。

また、質問によっては、回答がなかった、もしくは、択一選択の質問に複数の回答があったため、総数について整合がとれていない部分があります。

1 アンケート概要

食品ロスについて

2 調査目的

日本だけではなく、国際的にも課題になっている食品ロスについて、アンケート調査を実施いたします。目的としては、区民の皆様の関心や取組状況等をお聴きすることで、今後、より多くの方が食品ロス削減について意識し、実践していただけるよう区の啓発事業等の参考にすることです。

3 調査対象

- | | |
|------------------|-------|
| (1) いたばし・タウンモニター | 50 名 |
| (2) いたばし・eモニター | 188 名 |

4 調査方法

- | | |
|------------------|----------------|
| (1) いたばし・タウンモニター | 郵送またはインターネット回答 |
| (2) いたばし・eモニター | インターネット回答 |

5 調査期間

令和7年1月27日（月）から令和7年2月10日（月）まで

6 アンケート作成部署

資源循環推進課

7 回答結果（回答率）

	回答数	回答率
タウンモニター	35人	70.0%
eモニター	79人	42.0%
計	114人	47.9%

8 その他

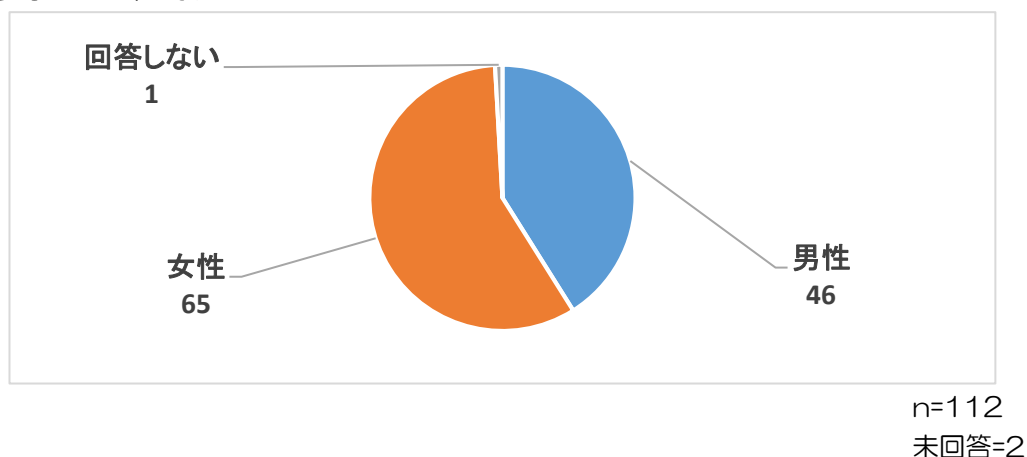
紙面の関係上、要約・省略をしているものがあります。

また、ご意見・ご要望等で、アンケートに関連のない内容等については、割愛いたしました。

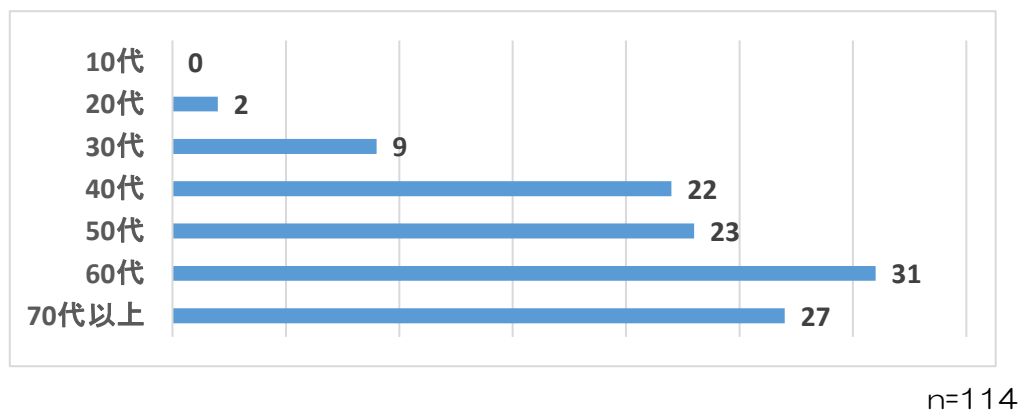
回答の比率（％）は、小数点第二位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100%にならない場合があります。

あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別は



問2 あなたの年齢は

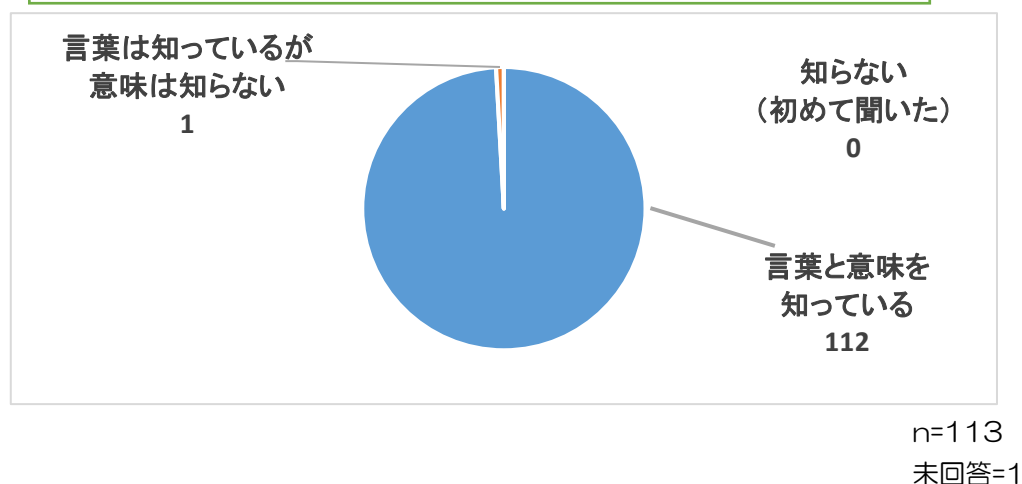


「食品ロス」について

問3 「食品ロス」を知っていますか。

※食品ロス

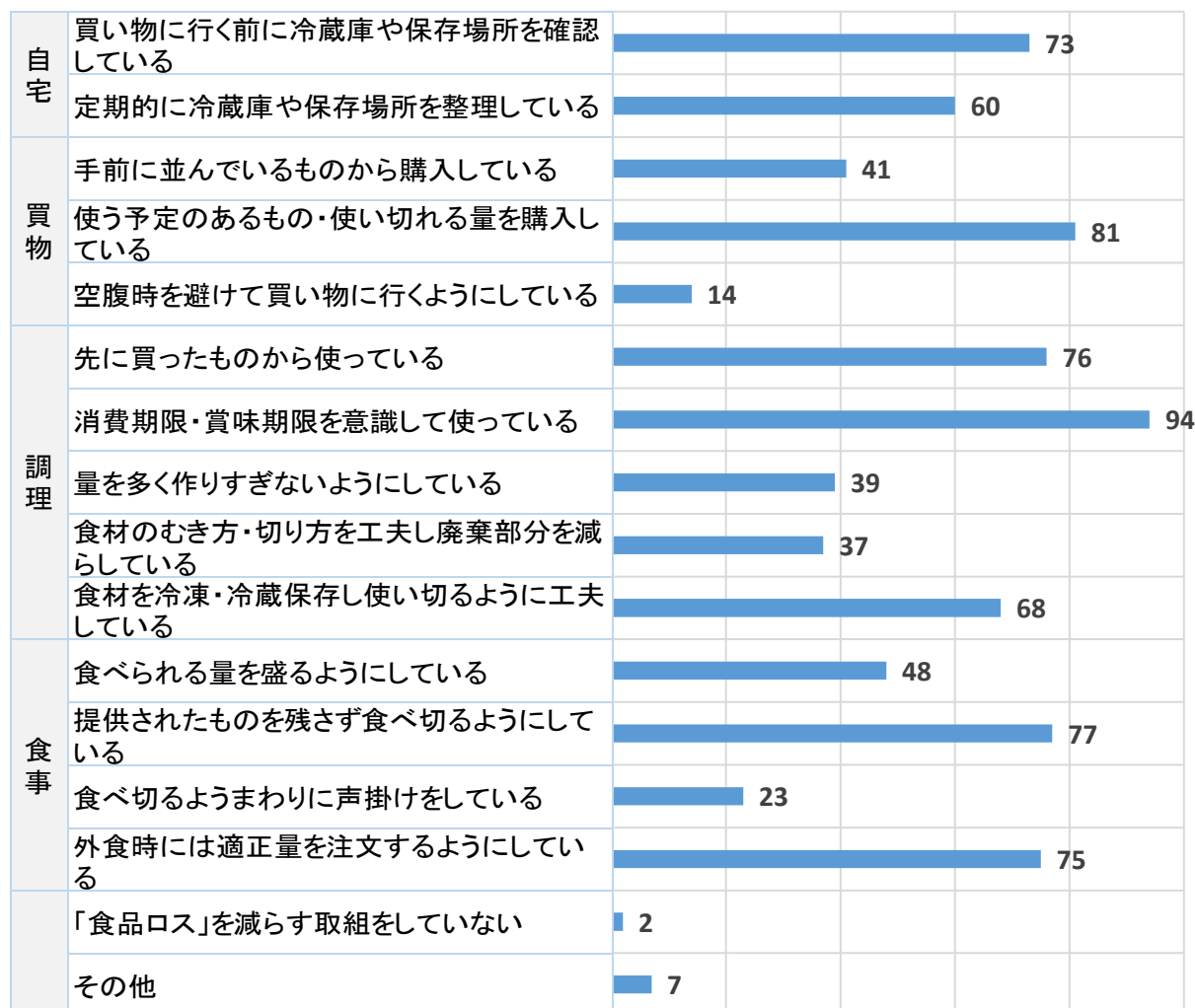
まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のこと



「言葉と意味を知っている」と回答した人が112人（99.1％）で最も多かった。

問3で「言葉と意味を知っている」「言葉は知っているが意味は知らない」と回答された方にお伺いします。

問4 普段ご自身で行っている「食品ロス」削減につながる取組で、あてはまるものをお選びください。（複数回答可）



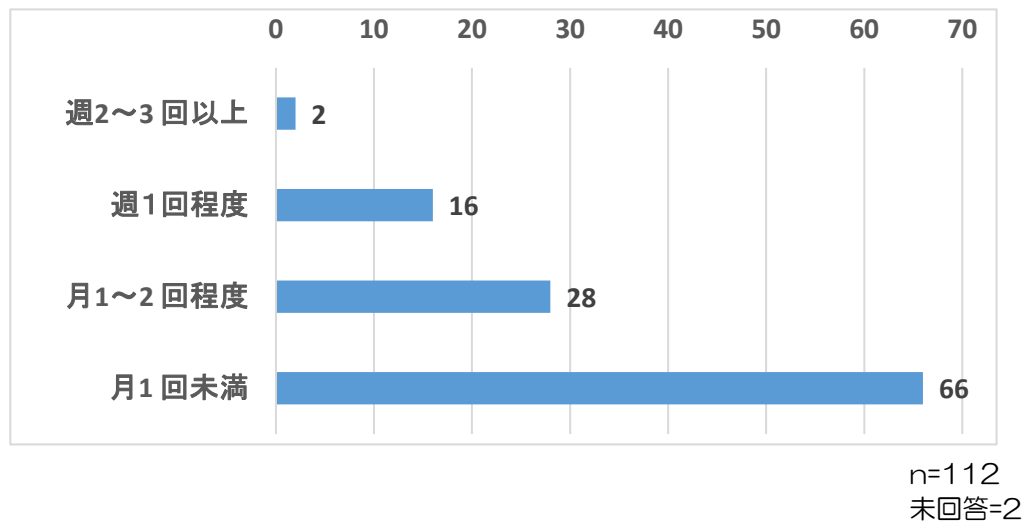
n=114

「消費期限・賞味期限を意識して使っている」と回答した人が94人（82.5%）で最も多かった。

《その他の回答》

- ・店での食べ残しは持ち帰るようにしている。
- ・外出時に残した食べ物は、容器を購入して、自宅に持ち帰って後で食べるようにしている。
- ・大家族だったため、作る量を減らすことができずに、何日も食べたり、処分せざるを得ない時もあり、反省の日々です。
- ・知人、友人におすそわけして食べていただく。
- ・期限が近いために割引販売している商品を積極的に購入する。
- ・冷蔵庫、冷凍食品、常温保存食品は数をメモしていて、数を食べたら減らし買ったらずやしてするので、全くロスがない。
- ・防災備蓄のローリングストックに取り組み、賞味期限内に使いきる。

問5 食べ残しや期限切れなどにより、食品・食材を捨ててしまう頻度はどのくらいですか。



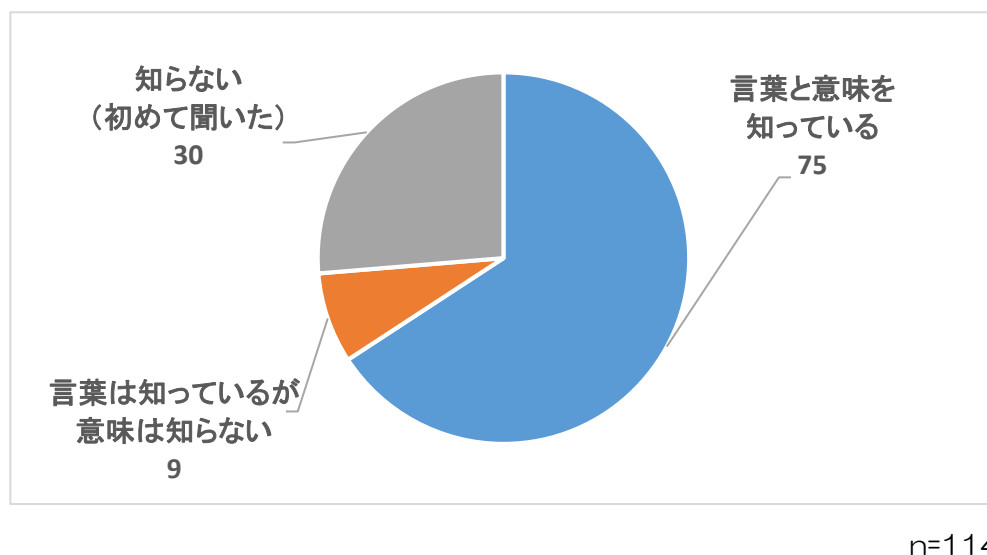
「月1回未満」と回答した人が66人（58.9%）で最も多かった。
※その他コメント「全く捨てることはない」（2人：「月1回未満」として集計）

「フードドライブ」について

問6 「フードドライブ」を知っていますか。

※フードドライブ

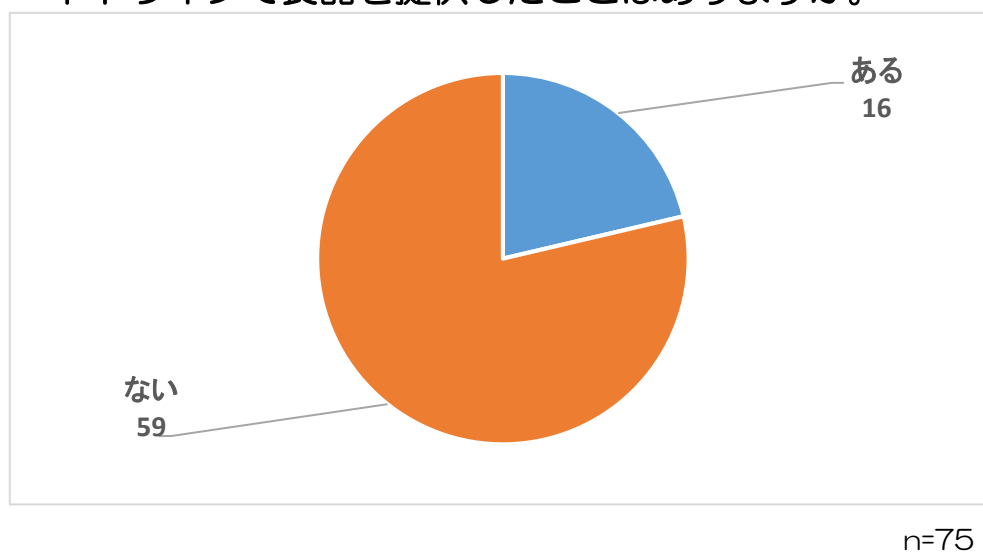
家庭で使いきれない食品を持ち寄り、福祉団体などに提供する活動のこと



「言葉と意味を知っている」と回答した人が75人（65.8%）で最も多かった。

問6で「言葉と意味を知っている」と回答した方にお伺いします。

問7 フードドライブで食品を提供したことはありますか。

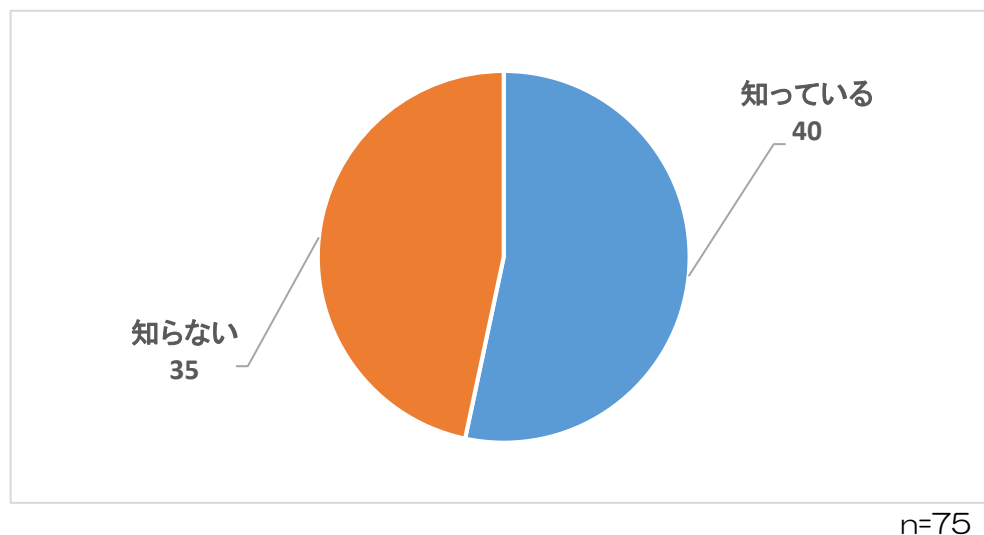


「ない」と回答した人が59人（78.7%）で最も多かった。

※その他コメント「イベントでの受け付けで、提供したことがある（板橋区外）。」

問6で「言葉と意味を知っている」と回答した方にお伺いします。

問8 区では、18か所の地域センターや子ども家庭総合支援センター、無印良品板橋南町22、マルエツ板橋南町店、ファミリーマート板橋三園店、ファミリーマート板橋成増一丁目店で、フードドライブの受け付けをしています。この活動を知っていますか。



「知っている」と回答した人が40人（53.3%）で最も多かった。

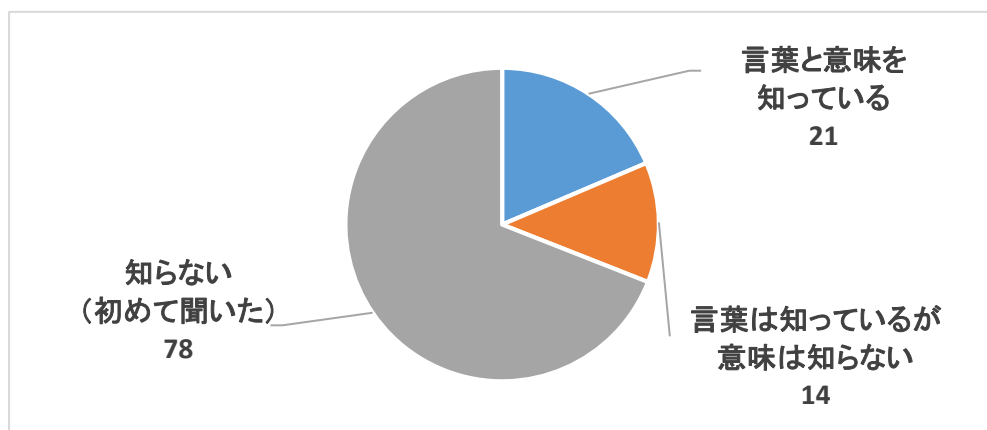
※その他コメント「常に受け付けしている場所は全く知らないが、活動は知っている。」

「フードシェアリングサービス」について

問9 フードシェアリングサービス「いたばし×タベスケ」を知っていますか。

※いたばし×タベスケ

食品を取扱う協力店が食品ロスになりそうな商品をウェブサイト上に割引価格で出品し、ユーザーが出品された商品の中から欲しいものを購入できるフードシェアリングサービスのこと



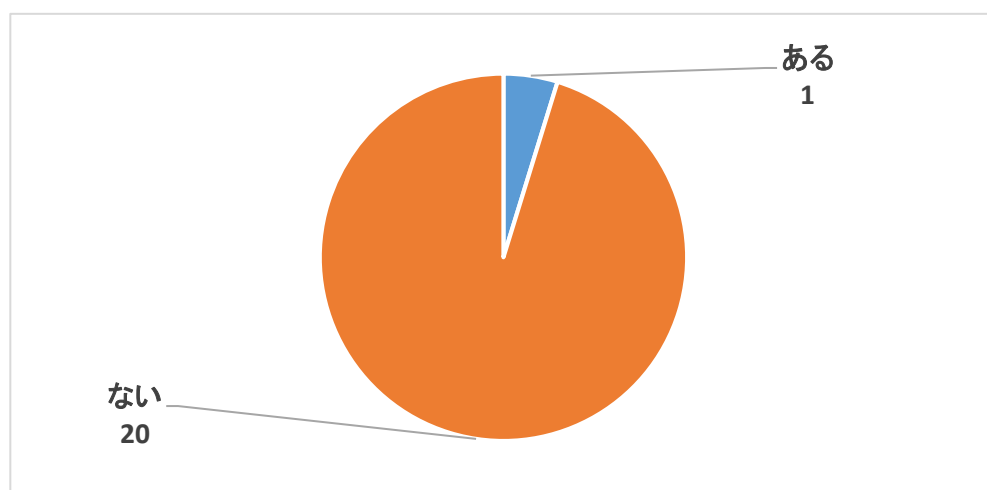
n=113

未回答=1

「知らない（初めて聞いた）」と回答した人が78人（69.0%）で最も多かった。

問9で「言葉と意味を知っている」と回答した方にお伺いします。

問10 「いたばし×タベスケ」を利用して商品を購入したことはありますか。



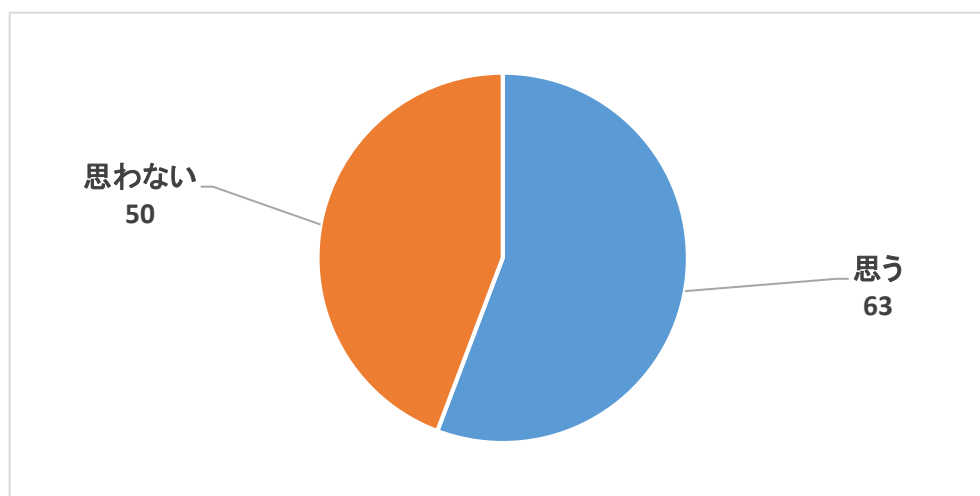
n=21

未回答=1

「ない」と回答した人が20人（95.2%）で最も多かった。

問9で「言葉は知っているが意味は知らない」「知らない（初めて聞いた）」、または問10で「ない」と回答した方にお伺いします。

問11 「いたばし×タベスケ」を利用したいと思いますか。

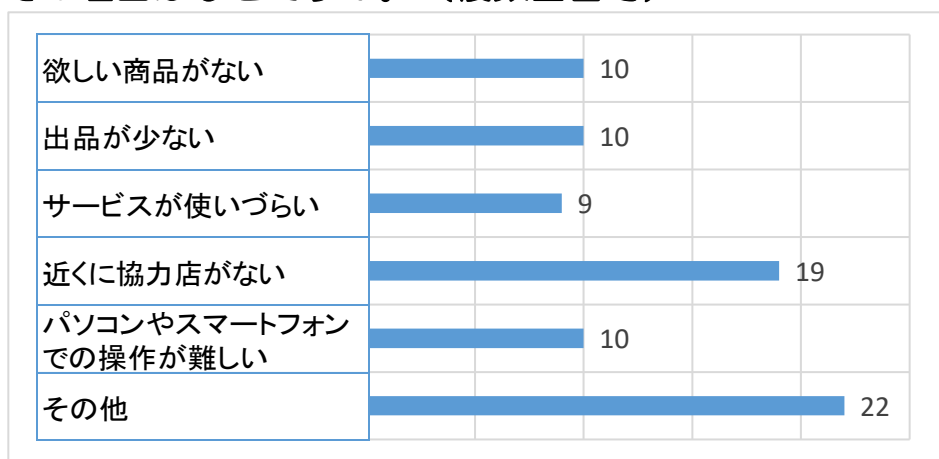


n=113
未回答=1

「思う」と回答した人が63人（55.8%）で最も多かった。

問11で「思わない」と回答した方にお伺いします。

問12 その理由はなぜですか。（複数回答可）



n=51
未回答=1

「近くに協力店がない」と回答した人が19人（37.3%）で最も多かった。

（その他の回答 は次のページ）

《問12「（「いたばし×タベスケ」を利用したいと思わない）その理由はなぜですか。」
その他の回答》

- ・意味が分からない。タベスケを知らないので答えられない。（2人）
- ・現在自分には特に必要とは思っていない。困っていない。（2人）
- ・生意気ですが、現状はそこまで困窮していない。現在の環境、閉鎖社会（個人情報だ、対人に対する異常なまでの警戒と意識過剰性）では、全てが共同や協調性を不可能にしています。お節介や、親切心など本来の人間性は実行、実施は非常に難しいと思う。
- ・今で足りており、何となく面倒だから。
- ・使ったことがないのですが、食品ロスは各家庭で努力すればできます。スーパーとかも、AIなどで適正な注文をして食品ロスを出さないことも考えられます。第三のやり方をお考えのようですが、使われないシステムなら、人力などを投じるべきではないです。
- ・パソコン・スマートフォンを持参していない。ガラケー持参のみ。
- ・食品は極力オンラインではなく、実店舗で自分の目で見て購入したいため。
- ・出品される時間や日にちが分からず、タイミングが合わないと思う。
- ・自分で欲しいものを欲しいだけ買っていますので、他に譲ったりできません。
- ・家族構成上、利用することは難しい。
- ・共同購入をしている。
- ・必要でない商品無理に買ってしまいそうのため。
- ・賞味期限の近いものを購入して期限内に使わないかもと考える。
- ・実店舗で購入しているのと購入～配達までのタイムロスと食品の賞味期限が不安
- ・訳あり品の販売で一部問題報道があったように、売上のためにわざと過剰生産したり、2重価格問題が潜んでいないか気になるから。そもそも実店舗で割引販売すればよいだけの話だと思う。
- ・フードシェアリングを経験したことがないので抵抗がある。
- ・衛生の不安
- ・いい取り組みだとは思いますが、あまりに商品が少ないですね。また、理由の回答でなく恐縮ですが、何があるかわからない宝探しのような楽しみ方もあるけれど、「ここであれが買える」というような目玉商品があるといいのではないのでしょうか。魅力的なものが並んでいることで、定期的に商品を確認しようという動機づけになるかと思うのですが。たとえばJAあおばに流通規格外野菜の協力が求められないとか、区役所の食堂がクローズ前に惣菜セットを出品するとか。売り上げに繋がるものであれば商店街のお店の協力ももっと得られるのではないのでしょうか。

生ごみの減量・リサイクルについて

問13 生ごみの減量やリサイクルのため、普段ご自身で行っている取組で、当てはまるものをお選びください。（複数回答可）

※生ごみ処理機

生ごみを処理する家電製品のこと。主に微生物の働きにより生ごみを分解させてたい肥化する「バイオ式」と、熱風により生ごみを乾燥させて減量化させる「乾燥式」がある。

※コンポスト容器

生ごみを土と混ぜて入れて、土の中の微生物の働きにより、たい肥化させる容器のこと。

生ごみの水を切ってから廃棄するようにしている	86
生ごみ処理機を使用して減量化・たい肥化を行っている	5
コンポスト容器等を使用して生ごみのたい肥化を行っている	5
生ごみの減量やリサイクルのための取組を行っていない	18
その他	7

n=113

未回答=1

「生ごみの水を切ってから廃棄するようにしている」と回答した人が86人（76.1%）で最も多かった。

※生ごみの「水切り」は生ごみそのものの減量ではありませんが、「水切り」によりごみの重さが減るのでごみ減量効果があること、水分の減量により焼却エネルギーを減少させ二酸化炭素の排出量削減に繋がることから、区では、「水切り」は生ごみ減量の取組の一部として捉えています。そのため、「生ごみの水を切ってから廃棄するようにしている」を選択された方については、生ごみ減量の取組を行っているものとして集計させていただきました。

《その他の回答》

・ディスプレイ

・生ごみは、全てキッチンのシンクに流して、マンションの一か所に集まるようになっていいます。定期的に清掃局が生ごみを取りに来ることになっているので、自分で生ごみを処理したことは無いです。

・アパート、団地、レジデンス、マンションなどでは、庭も空地も無いので生ごみ処理機やコンポスト容器等の使用は例外です。

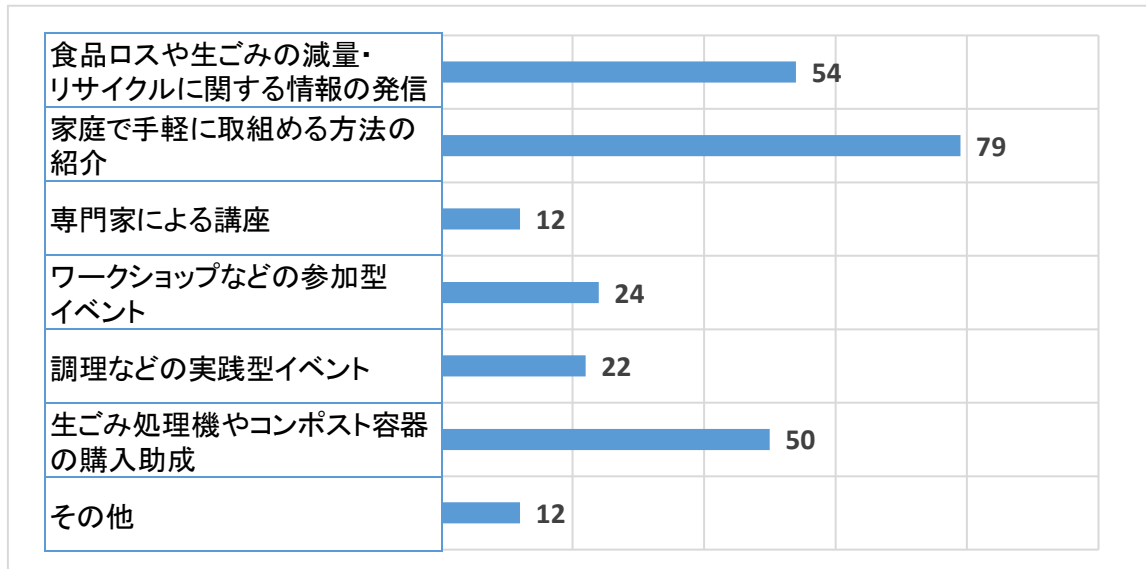
・生ごみが少なくなるように、野菜は皮ごと食べているので、生ごみは本当に少ない。

・皮の部分も料理できるような、有機野菜などの安全な野菜の購入を心掛けている。

・スーパーが回収してるトレイ、牛乳パック、キャップなどを持参してリサイクルしています。

食品ロスや生ごみの減量・リサイクルに関するイベントなどについて

問14 食品ロスや生ごみの減量・リサイクルに関して、今後どのようなイベントやサポートがあると良いと思いますか。当てはまるものをお選びください。（複数回答可）



n=114

「家庭で手軽に取り組める方法の紹介」と回答した人が79人（69.3%）で最も多かった。

《その他の回答》

- ・生ごみから、たい肥を作る講習を受けたいと思いますが、会場が遠くて参加できません。各地域センター等で開催していただけると、嬉しいです。
- ・以前、区主催のサルベージパーティーに参加しました。コロナ禍の直前の時期で、あれ以降なかなか参加型イベントは難しいとは思いますが、とても勉強になりました。サルベージパーティーでの経験が一番活かしているのは普段の生活というより、実はキャンプ料理です。持ち込む食材に限りがある中、これを利用して何ができるかな？あれが食べたいけれど、荷物を減らすためにはどうやって作ろうかな、と頭をひねっています。防災+食ロス×アウトドア飯とか面白いと思うのですが。丸太切り、薪割り、火おこし体験、ソーラークッキングなどと合わせるとか。赤塚公園、近隣区まで広げてよければ、岩淵水門、赤羽自然観察公園、特例が許されるのであれば、東板橋公園や、荒川河川敷、大きな公園や学校の校庭などを会場に。いかがでしょうか。
- ・それらに関心がない層が集まるイベントなどでの普及啓発
- ・気候変動や世界情勢の影響で、今後食糧難になることを啓発し、そのうえで自給自足の心得を啓発します。その中で、コンポストなどを紹介し、肥料などの資材をわざわざ用立てなくてもベランダで美味しく甘いトマトができることを示します。
- ・食べ残しの際の（外食での）持ち帰り容器の持参で、いたばしPayのポイントがたまるなど特典があると、食品ロスや生ごみの減量につながると思います。
- ・3（専門家による講座）は専門家はどうしても庶民大衆からは、雲上人になる。助成では無く、無償であるべき、集合住宅は。戸建ての場合は補助もよし。
- ・食品の包装・パック包装など、簡素でも良い。
- ・区の施設等に生ゴミ処理機やコンポストを設置する。

（その他の回答 の続きは次のページ）

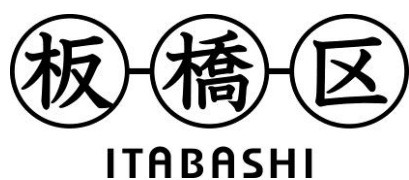
《問14「食品ロスや生ごみの減量・リサイクルに関して、今後どのようなイベントやサポートがあると良いと思いますか。」 その他の回答 続き》

- ・費用対効果が期待できないため何もしないでください。

- ・興味がない。

- ・食品ロス等は、消費者より販売者の方に重点を置いた方がよいのでは？

- ・イベントやサポートといった志のある人・企業をサポートする取り組みも大事ですが、ごみを多く発生させる住民・企業に対して罰金・手数料等の逆インセンティブを与えて、意識改革させる必要があるのではないかと考えます。例えば一般家庭ならごみ袋有料化、事業者の場合は事業系一般廃棄物や産業廃棄物のうち食品残渣等の生ごみを分別させて焼却を禁止、食品廃棄物リサイクル施設や下水汚泥との混合処理等でのリサイクル処理の義務付け、食品廃棄物に特化したリサイクル率の公表義務付けなど。また、金を払えば、リサイクルできれば捨てても問題ないという意識を無くす必要があると思います。それと、コンポスト等の堆肥化や生ごみ処理機による減容処理も清掃工場でのごみ量当たりのカロリー向上や最終処分量の低減、化学肥料抑制等に繋がる点は評価すべきですが、発酵過程で温室効果ガスがそのまま大気中に放出されたり、家庭でのエネルギー消費量が増加したりすることもあり、局所最適に留まるのではないかと考えられます。食品リサイクル法より進んだ自治体の取り組みに期待します。



いたばし・タウンモニター いたばし・eモニター 令和6年度 第10回アンケート結果報告書
食品ロスについて

令和7年 3月発行

刊行物番号
R06-159